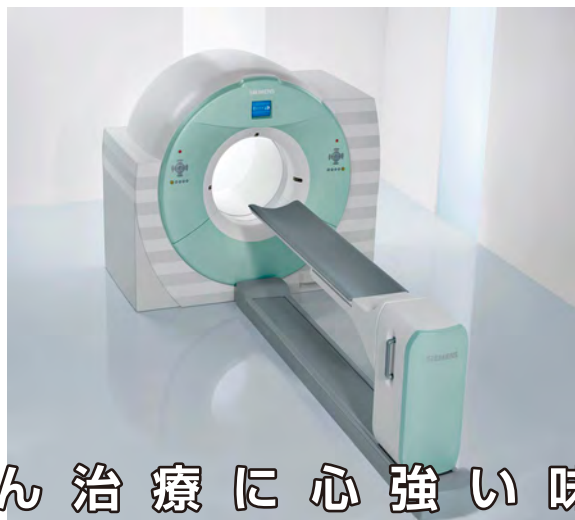
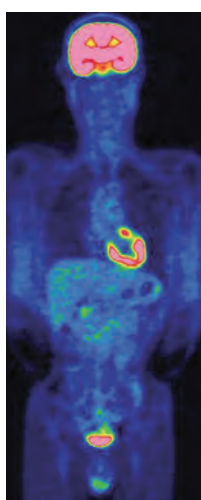




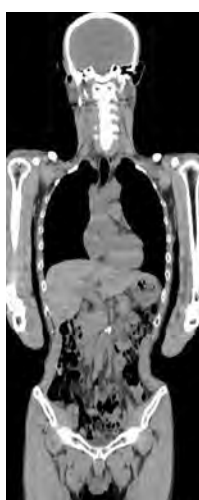
がん治療に心強い味方

PET-CT検査

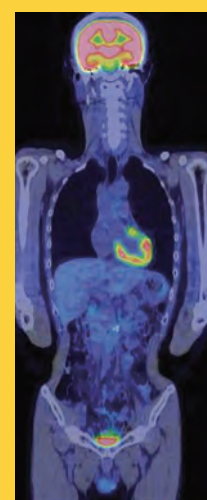
ご案内



PET画像



CT画像



PET-CT画像

ペットシーティー

PET-CTとは

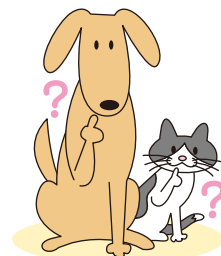
PETとは、日本語で「ポジトロン断層撮影法」といい、がんを検出する検査のひとつです。PET-CTはPETによるがんの検出と、CTによる体の位置情報をあわせることによってより詳しい診断をすることができます。

この検査は、治療前では病巣の広がり診断、また治療後では再発診断にとても有用で、1度にほぼ全身のがん検索ができます。

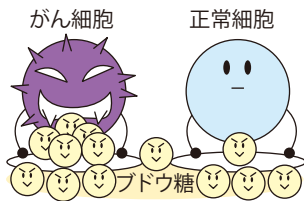
[^{18}F]FDG(フルオロデオキシグルコース)という当院で製造している検査薬を、静脈に注射する以外痛みはありません。また、不快感や[^{18}F]FDGによる副作用もほとんどない※ので、安心して検査を受けることができます。

1回のPET検査での被ばくは、1年間で自然界から受ける被ばく(2.4mSv)と同じくらいです。そこにCTの被ばく(5~15mSv)が加わります。

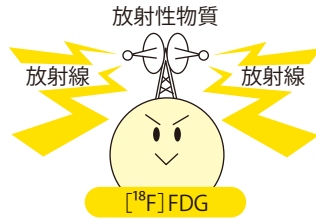
しかし、PET-CTも万能ではありません。さらに他の検査が必要になる場合があることをご理解ください。※(平成19年度の報告で、副作用は8万5千人に1人くらい)



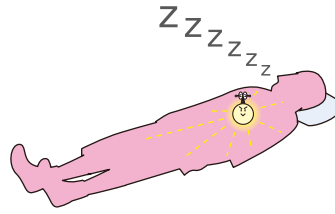
PET-CTの原理



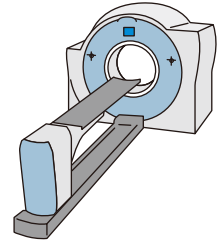
がん細胞は、一般的に正常細胞の3～8倍ものブドウ糖を取り込む性質があります。



そこで、 $[^{18}\text{F}]$ FDGという検査薬を使用します。 $[^{18}\text{F}]$ FDGは、ブドウ糖に放射性物質を合成したもので、がんの位置を知らせる発信機の役割をします。



静脈から $[^{18}\text{F}]$ FDGを投与し、約1時間安静にして、全身に行きわたらせます。がん細胞は $[^{18}\text{F}]$ FDGをブドウ糖と勘違いし、たくさん取り込みます。



PET装置が $[^{18}\text{F}]$ FDGから出る放射線を検知し、がんの有無や位置を特定します。このとき同時にCTを撮影しています。

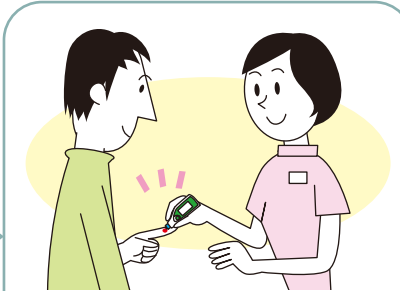
検査後 $[^{18}\text{F}]$ FDGの放射線は徐々に弱くなっていきます(2時間で半分に減少)。また、尿から排泄されますので、翌日にはほとんど体内に残りません。

検査の流れ

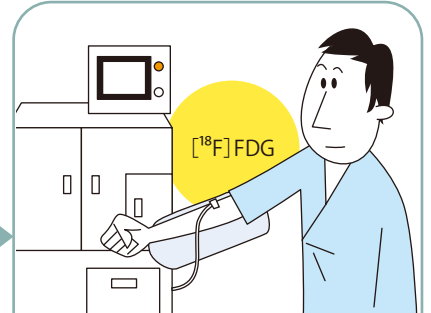
検査時間はおおむね3時間くらいです。検査が終わるまで検査室を出ることはできません。



前日からの激しい運動や作業は、避けてください。また検査前は6時間以上の絶食が必要です。水(糖分の入っていないもの)は飲んでかまいません。



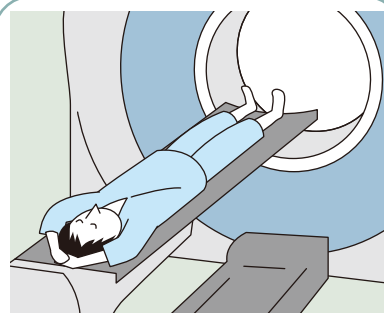
当日は、検査の流れについて説明した後、問診や血糖値測定を行います。**その結果(血糖値200mg/dL以上など)によっては検査が出来ない場合があります。**



検査衣に着がえ、 $[^{18}\text{F}]$ FDGを腕から静脈注射します。機械注入により1～2分ほどで体内に入ります。



$[^{18}\text{F}]$ FDGがまんべんなく全身に行き渡るようにするため、待機室にて約1時間安静にします。この間、当院で用意した水を飲みます。



排尿後、約30分かけてPET-CT撮影をします。再度待機室にてお休みいただき、時間をおいて2度目の撮影をします。

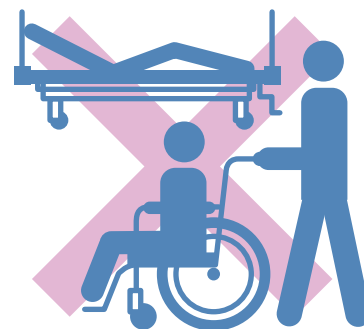


2度目の撮影の後、検査終了になります。その日は妊婦や乳幼児との接触を控えるよう心がけてください。

注意事項

※必ずお読みください。

- 検査中は、おひとりでの行動となります。寝たきりの方、トイレなどに介助が必要な方は、検査をお受けできません。車いすの方でも介助の必要ない方は、検査をお受けできます。被ばく防止のため、職員は原則として介助につけません。
- 閉所恐怖症の方は、主治医にご相談ください。
- 水分制限のある方は、あらかじめ主治医にご相談ください。
- 妊娠中の方は、お受けできません。
- 授乳中の方は、検査後24時間は授乳をお控えください。
- ペースメーカーを使用している方は、手帳を持参してください。
- [^{18}F]FDGが、がんより筋肉に集まるのを防ぐため、検査の前日と当日は、体に負担のかかる激しい運動や作業をお控えください。



検査前に食事制限や糖尿病薬の使用制限があります。

	前日 夕食	当日 朝食	当日 昼食
午前検査の方	○ 通常 糖尿病薬を使用されている方は、服用または注射してください。	× 絶食 (水のみ可) 糖尿病薬を使用されている方は、服用または注射しないでください。	—
午後検査の方	○ 通常 糖尿病薬を使用されている方は、服用または注射してください。	△ いつもの7割程度 (7時まで済ませてください) 糖尿病薬を使用されている方は、服用または注射してください。	× 絶食 (水のみ可) 糖尿病薬を使用されている方は、服用または注射しないでください。

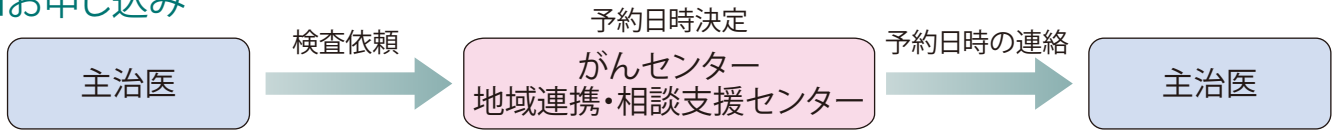
他の薬は使用してさしつかえありません。詳しくは、主治医にご相談ください。

対象適用疾患

当院のPET-CT検査は、保険適用疾患のうち悪性腫瘍（早期胃がんを除き、悪性リンパ腫を含む）を検査対象とします。詳しくは主治医にご相談ください。

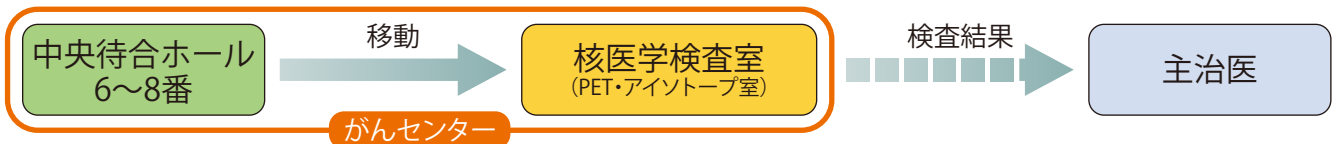
がんセンター新潟病院以外から検査予約する方へ

■お申し込み



各医療機関の主治医から、がんセンター新潟病院に、FAXで検査の申し込みをします。その後、がんセンター新潟病院で予約日時を決定し、折り返し依頼元の主治医に連絡します。検査の詳細についてのご説明は、依頼元の主治医が行います。

■検査当日から結果説明まで

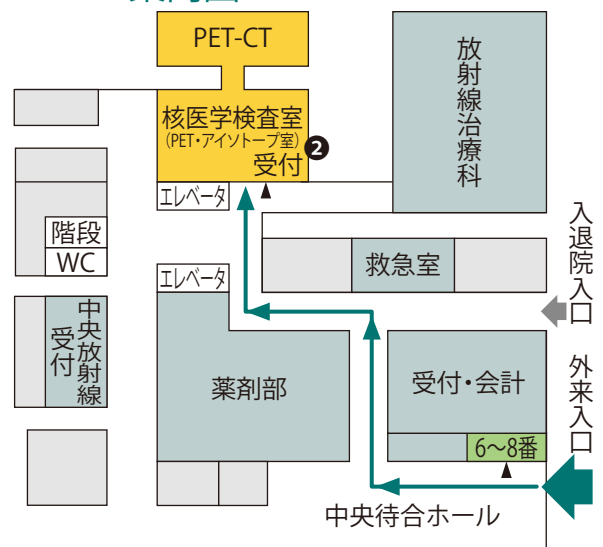


検査当日は保険証、検査予約票、紹介状、画像データのいった資料(CD、フィルムなど)を持参してください。中央待合ホール6～8番で受付後、核医学検査室(PET・アイソトープ室)にて検査します。検査結果が出るのは、おおむね2～3日後になり、依頼元の主治医へ郵送します。なお、検査当日は、結果のご説明はできません。

■予約についてのお問い合わせ

新潟県立がんセンター新潟病院
地域連携・相談支援センター
TEL.025-234-0011
FAX.025-234-0022 検査予約用

案内図(がんセンター1F)



検査についてのお問い合わせ

新潟県立がんセンター新潟病院
核医学検査室(PET・アイソトープ室)
TEL.025-266-5111 (内線2147)



新潟県立がんセンター新潟病院

〒951-8566 新潟市中央区川岸町2丁目15番地3

TEL.025-266-5111 FAX.025-266-5112

<http://www.niigata-cc.jp> ホーム▶部門のご紹介▶PET-CT検査